



# I 院長 卷頭言

# 巻 頭 言

院長 永野 功

このたび、国立病院機構宮城病院の平成30年度病院年報・業績集を刊行することになりました。こうして当院の活動の一環をご紹介することができますことは、誠に喜ばしいことです。

平成23年の東日本大震災では、ライフラインの障害により医療活動継続の危機に直面しましたが、職員の奮闘努力と国内外の多くの関係者のご支援によってこれを乗り越えることができました。震災後、この経験を糧として当院は地域とのつながりをいっそう大切にし、地元や周辺自治体との連携をさらに深めてまいりました。

そして、平成27年には山元町・亘理町と「相互協力協定」を締結し、医療、保健、福祉などの面で地域貢献を行っています。たとえば、地域住民に対する健康増進活動として「公開講座」を毎年開催し、健康を維持するための情報発信を多職種で推進しています。

さらに平成29年度からは地域医療連携室が中心になって、地域の専門職を対象に「医療と看護・介護の多職種連携研修会」を開催するようになりました。山元町教育委員会の資料「ふるさと地名考」によると、当院の前身である傷痍軍人宮城療養所の建設時には村をあげての奉仕作業で工事が進められたそうで、創立時からの当院と地域との縁を鑑みて感慨深いものがあります。

院内においてはQC活動や臨床研究・看護研究の取り組みが進んでおります。QC活動では各部署のユニークな活動の成果を年に1度のQCサークル活動発表会で紹介していますが、近年のレベルの向上には目を見張るものがあります。

平成31年度には病院機能評価「一般病院2」の再受審が予定されており、このような院内の地道な取り組みが高く評価されるものと確信しています。

最後に、本病院年報・業績集に原稿をお寄せ下さった方々と、編纂に当たった編集委員の方々に深く感謝申し上げます。



## 基本理念

「良い医療を安全に、心をこめて」

## 行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。